



「おかやま介護の日2015」(県社協ニュース)

岡山県社会福祉



特集 第6次岡山県社協 経営・活動計画 「中間評価」の概要

p2

- 共同募金p5
- 県社協ニュースp6
平成27年度メンタルヘルス担当者研修会を開催
岡山県災害福祉支援ネットワーク推進会議を開催
生活福祉資金担当者研修会を開催
地域資源を現場で活かす!ボランティアマネジメント講座
「おかやま介護の日2015」を開催
- 現場からの発信p10
災害時における福祉施設の役割③
地域と連携した防災意識を高める取り組み~社会福祉法人 淳邦会~
- 「ふくし」の仕事人たちp12



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
<http://www.fukushiokayama.or.jp>

この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

昭和26年12月4日 第三種郵便認可 平成28年1月10日発行(2・4・6・8・10・12月の各10日発行)



第6次岡山県社会福祉協議会 経営・活動計画「中間評価」の概要

～関係者との連携・協働のもと、
さらなるリーダーシップの発揮に向けて～



平成25年度より5か年計画として進めている第6次岡山県社会福祉協議会経営・活動計画について、地域社会における生活・福祉課題や社会福祉をめぐる制度的環境が目まぐるしく変動する中で、時代のニーズに沿った地域福祉事業・活動を展開していくために、計画中間年となる今年度（3年次）、中間評価を行い、計画後半（4・5年次）の計画修正を図りました。

今号の特集では、本会経営企画委員会にて協議・検討した第6次岡山県社会福祉協議会経営・活動計画の中間評価（2年間の成果と今後の事業展開の方向性）について概要報告いたします。

経営方針の総括

①組織「組織の実行力」

◆法人経営・運営組織の整備

2年間の成果（●は重点目標における取り組み。以下同）

本会を取り巻く環境変化に迅速かつ適切に対応して行くため、専門的な見地から「経営企画委員会」での協議を経て、理事会・評議員会で慎重

重審議を行う仕組みを定着させ、トップマネジメント機能の充実を図りました。

さらに、組織活動の活性化に向けて、事務局職員による「企画調整会議」の役割発揮、事務局内の横断的な特命チームである「災害福祉支援ネットワークチーム」、「生活困窮者支援検討チーム」によるあり方検

討、県民をはじめ、関係機関・団体や会員に対し、本会の取り組みや活動について、積極的に情報提供を行うなど広報・情報活動の強化に取り組みました。

●機関紙「岡山県社会福祉」を、より魅力ある紙面となるようリニューアルするとともに、「広報活

動強化方針」として今後の広報戦略をまとめました。

②活動「地域の福祉力」

◆福祉のまちづくりに向けた

県民参画の基盤整備

2年間の成果

小地域福祉活動の仕組みや拠点整備に向けては、県内の市町村社協と

の連携のもとで、地域の早期発見の仕組みとなる福祉委員活動の活性化を目指し、その役割・活動についての全体的な普及・啓発活動に取り組むとともに、市町村社協の地域福祉活動計画の策定支援や進捗管理・評価の仕組みづくりに取り組みました。

また、生活困窮者支援や地域包括ケアの実現、災害支援体制の整備等、今日的な地域福祉課題に対応できる市町村社協ボランティアセンターの機能充実・強化を図るため、県社協ボランティア・NPO活動支援センターの事業ビジョンの明確化（3か年プランの策定）に取り組み、併せて県内の災害ボランティア支援体制の整備に向けた人材育成やネットワークづくりに取り組みました。

●市町村社協におけるボランティアセンターの強化に向けて、「県社協ボランティア・NPO活動支援センターアクションプラン」を策定し、今後の活動基盤の充実強化を図りました。

◆利用者保護・支援の仕組みづくりの推進

2年間の成果

利用者保護・支援の基盤整備として、高まる後見支援ニーズへの対応を見据え、県域の権利擁護支援体制の充実を図りました。

また、「社協・生活支援活動強化方針」の実現や生活困窮者自立支援法の施行に向けて、市町村社協をはじめ、関係機関との連携を図るとともに、環境整備に取り組みました。

矯正施設退所者の支援では、関係機関・団体との連携強化と普及啓発に向けて、支援対応ガイドブックを作成し、地域での定着率の向上に向けた取り組みを強化しました。

●「市町村における権利擁護推進に関する実態調査」の実施により、行政への権利擁護体制整備の必要性についての啓発・喚起につながるとともに、県域の権利擁護支援体制の充実に向けて「岡山県市民後見人情報交換会」を開催しました。

◆福祉サービスの質の向上

2年間の成果

法人経営や施設運営の支援として、組織管理や人事・労務管理体制の整備支援、福利厚生制度の充実や研修体系の再構築に取り組みました。

また、慢性的な人材不足の解決にあたっては、行政や福祉施設、関係機関・団体と連携を図り、人材確保と定着支援に向けた取り組みを強化しました。

●「福祉紹介キャンペーン」事業において、現場職員の生の声を届け、福祉の仕事の魅力を発信するとともに、「福祉のしごと職場見学ツアー」では、実体験を通して、福祉の仕事への理解を深めることができました。

③人事・労務「人材の創造力」

◆人事・労務管理体制の充実強化

2年間の成果

効果・効率的な組織を目指して、本会組織を4部体制に再編し、部内、並びに部間における業務の連携に努

めるとともに、毎年度研修ニーズ等を踏まえて策定する職員研修計画に基づく取り組みを通して、人材の育成を進めました。

さらに、働きがいのある職場環境の実現に向けて、執務環境の安全確保と職員の健康管理、ワークライフバランス（仕事と生活の両立）に配慮した労働環境の整備に努めました。

●本会主催の福祉職員生涯研修等の本会職員による講師実施について、研修計画に位置付けるとともに、全職員が講師を担い、説明能力向上に向けた人材育成に努めました。

④財務「経営の自立力」

◆財務基盤及び管理体制の整備

2年間の成果

法人経営の安定化のために、従来から取り組んできた参加費、掛金等の特定自主財源、使途を限定しない一般自主財源の安定的確保と公的財源の確保に向け、個々の取り組みを積極的に実施しました。

●平成26年度に新会計基準へ移行し、経営実態の明確化、財務状況の透明性を担保するなど、適正な財務管理を実施するとともに、財務諸表をホームページ上で公表し、新会計基準に沿った、より透明性の高い財務管理に努めました。

今後2か年の計画推進における事業展開の方向性

社会福祉法人制度改革を基本とした社会福祉法の一部改正の動き（※平成28年1月21日現在、国会審議中）における地域の公益的活動の推進など、地域福祉を取り巻く環境が今後、さらに大きく変動することが予測されています。

このことから、計画後半においては、求められる今日的な地域福祉課題への対応に向けて、制度・施策ごとに推進されている各種の県民参画の事業・活動が日常生活圏域において、より総合的に展開できるように支

援を行っていきます。

そして、地縁組織や多様な福祉関係者が協働した小地域福祉活動の展開促進と、市町村社協や各種関係機関・団体等の専門職の育成に取り組んでいきます。

また、生活困窮者自立支援法の施行を受け、成年後見制度も含めた総合的な権利擁護支援体制のさらなる充実を図るとともに、「社協・生活支援活動強化方針」の具現化を目指し、市町村社協活動活性化支援事業の実施により、それぞれの地域特性を生かした総合相談・生活支援機能の強化・充実に向けた基盤整備を促進します。

さらに、ますます福祉・介護人材の確保が求められるなか、サービス実施法人や事業者が、地域社会や利用者からのニーズに応え、質の高いサービスを継続的に提供していただけるよう、行政をはじめとした県内の関係機関・団体等と連携し、人材確保に向けた事業を展開していきます。

また、専門性と組織性を兼ね備えた人材の育成や定着に向けた各種研

修事業のさらなる充実を目指してまいります。

以上の目標達成に向け、本会として、様々な事業展開を行うていくなかで、組織の実行力を高めるため、広報・情報活動の強化に取り組むとともに、災害福祉支援体制の充実や市町村社協・施設経営法人等と連携した公益的活動の展開に向けた研究開発等に取り組んでいきます。

併せて、組織基盤の安定・強化を図るため、引き続き職員研修計画の

着実な実践により、職員の企画力、調整・コーディネート力などの資質向上を目指すとともに、公的財源の削減が続く状況下において、さらなる自主財源の増強と、徹底した財務管理等を実施し、健全で安定的な法人経営に努めていきます。

今後とも本会事業の推進につきまして、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

第6次計画 中間評価 修正計画書
(平成28-29年度)

※重点目標のみ抜粋

経営方針1 組織「組織の実行力」

- 理事会・評議員会機能の充実★
- 広報・情報活動の強化
- 災害危機管理体制の構築
- 県内市町村社協における災害時の支援ネットワークの構築(再掲)
- 地域における公益的活動の促進に向けた調査・研究★

経営方針2 活動「地域の福祉力」

- 県社協ボランティア・NPO活動支援センター機能の拡充に向けたビジョンの明確化・強化
- 県内市町村社協における災害時の支援ネットワークの構築
- 市町村社協の生活支援までを見据えた災害ボランティアセンターマニュアルの整備
- 災害ボランティアコーディネーターの育成
- 市民後見人養成等に係る取り組みの推進・強化
- 市町村社協における権利擁護(成年後見)支援センター事業の研究・促進
- 市民後見人のフォローアッププログラムの開発・実施
- 市町村社協における総合相談・生活支援体制整備に向けた理解促進
- 新たな課題(生活困窮者等)の早期発見・支援に向けた見守り活動の推進強化
- 民間事業者との連携による早期発見・対応の仕組みの研究
- 関係機関との連携による帰住者の定着率の向上
- 人材確保に向けた取り組み強化
- 県社協の研修実施機関としての機能強化

経営方針3 人事・労務「人材の創造力」

- 事務局職員の資質向上

経営方針4 財務「経営の自立力」

- 経営の透明性の確保

赤い羽根共同募金



岡山県共同募金会



平成27年度 NHK歳末たすけあい配分交付式

平成27年度NHK歳末たすけあい配分交付式を12月22日(火)、岡山駅西口のひかりの広場(リットシティビル内)にて開催し、配分が決定した17団体・4施設に対し、総額3,700,000円の配分決定通知書を交付しました。

あたたかい募金をお寄せいただいた方々をはじめ、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。



ありがとうメッセージ

全国心臓病の子どもを守る会 岡山県支部

NHK歳末たすけあい募金で、心臓病児とその家族を集め、医師・看護師・ボランティアのご協力を得て集団療育事業を行いました。日頃運動制限等でストレスを溜めている子どもに、安心して楽しい思い出をつくらせることができました。これも偏にこのご助成のおかげと深く感謝申し上げます。

グリーンファーム

当事業所は、障がいがあり、現在一般就労が困難な方に「仕事をする場」等を提供しています。

この度、助成金で、劣化していたビニールハウスの天井面を全面張替させていただき、利用者の皆さんも安心して作業ができるようになりました。本当にありがとうございました。

福祉の労務管理はお任せください！

人材定着・人材育成のご相談も

Ai あい社会保険労務士法人

☎ 0863-81-5634

<http://aisr.or.jp/>

あい社会保険労務士法人



特定社会保険労務士 佐藤起世子

〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

接遇セミナー等各種研修もお受けいたします



●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画-製作

美術工房



公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412

〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13

平成27年度メンタルヘルス 担当者研修会を開催



面接ロールプレイングの様子

12月10日(木)、21日(月)、産業カウンセラーの大森一女先生を講師としてお招きし、メンタルヘルス担当者研修会を開催しました。

今年度は、キャリアデザインとメンタルヘルスの関係にも焦点を当て、職場環境やコミュニケーション等について、わかりやすくご講義いただきました。

また、職員から相談を受けた際の面接ロールプレイングを行い、事業所のメンタルヘルスケアを推進していく上での、知識・技術を2日間学びました。

岡山県災害福祉支援 ネットワーク推進会議を開催

12月16日(水)のネットワーク推進会議では、兵庫県立大学環境人間学部 木村玲欧准教授にご講義いただき、「岡山県の地震・豪雨災害とわがこと意識」について考えていきました。これからは生きる人々にとって、地震や異常気象による災害は「めったに起きないもの」ではなく、「頻繁に発生して、その度に命を脅かすもの」という認識を持たなければなりません。「天災」に対して事前にどこまで被害を抑止できるか、「人災」に対して確実に被害ゼロにする事前計画・訓練ができるか。災害が起こったとき、自分たちの地域に救援は来るのか。災害時は、普段やっていることさえ、うまくできない。ましてや、普段やっていない、考えていないことなどできるはずがない。どう「わがこと意識」を維持し向上させていけるか、参加者間でも課題を共有しました。

※県社協の災害福祉支援の取り組みについては、12月号もご覧ください。

主任児童委員研修会を 開催(県民児協)

12月22日(火)、岡山県総合福祉社会館において、標記研修会を開催しました。講師に、絵本「いのちをいたたく」の著者である助産師・思春期保健相談士の内田美智子先生をお招きし、ご講演いただきました。



まず、助産師としてのご自身の体験から、子どもが五体満足に生まれ育つことはそれだけで奇跡であると話され、施設で育つ子ども達が心ある大人との関わりによって成長していくお話の中で、「子どもが育つためにはたった一人の大人がいれば良い。皆さんもそのたった一人の大人になれます。」と言われた言葉がとても印象的でした。また、次の世代へ命をつないでいくため食育が重要であること、スマホ依存が学力形成に悪影響を及ぼすことなど、現代の子育ての現状と課題についても触れられ、子どもも多く関わる主任児童委員として学びの多い貴重な時間となりました。

社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

新会計基準
移行支援

- 期首残高の移行はできていますか?
- 新しい科目での仕訳はできていますか?
- どの様式の決算書を作成するか理解できていますか?

記帳代行
サービス

- 決算をしてみたまったく数字があわなかった
- やらないとだめなのはわかっているけど他の業務に追われて後回しに...

思い当たるあなたは今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

(受付時間) 9:00~17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに
ご相談
ください!



SCB
社福サポート
担当
いしはら

生活福祉資金担当者 研修会を開催

12月3日(木) きらめきプラザにて、標記研修会を開催しました。この研修は、従来生活福祉資金担当職員を対象に開催していましたが、生活困窮者自立支援制度の施行に伴い、今年度から自立相談支援機関へも参加を呼びかけ、多くのご参加をいただきました。

生活福祉資金は、低所得者世帯等に対し、必要な相談支援と資金の貸付を行うことにより、安定した生活を送れるよう支援することを目的としています。対象となる世帯の多くが複合的な課題を抱えており、当座の資金不足を賄うだけでは解決にならず、将来の見通しを持ちながら家計をやりくりする「家計管理」の力を高めることが重要になります。

そこで、今回の研修では日本貸金業協会 貸金業相談・紛争解決センターの島貫 正人氏より「低所得者における生活再建に向けた家計管理方法と聴き取り・助言のポイント〜カウンセリングを活用したアプローチ法〜」と題し、ご

講義いただきました。

家計管理診断を行うツールや目標設定・改善プランの検討方法の紹介はもちろん、まずは相談者と信頼関係を築くことが何よりも大切であること。しかし、貸付が前提にあると相談者の真の課題に気づきにくく、信頼関係を築くのは通常の相談以上に難しさがあること等、演習を交えて伝えていただきました。普段から多くの相談を受けている参加者の皆さんですが、「受容と共感」の大切さを再確認されたようです。

本会では、今後も相談支援力の向上を図るための研修を企画していく予定です。



SELLP商品のご紹介

社会福祉法人 クムレ
就労継続支援B型事業所 クラシス

ベイクショップクラシスではこだわり素材と作り手の思いを込めて、笑顔になれるお菓子を作っています。焼き菓子専門店として「素材・混ぜ方・焼き方」にしっかりと向き合い、パウンドケーキを中心に1つつ焼いています。

今シーズンから地産地消プロジェクトとして、倉敷上東地区にあるイチゴ園「吉田菜果園」様と提携してオリジナルのイチゴスイーツを販売しています。期間限定ですのぜひご賞味下さい。



- 商品名 パウンドケーキ
上東イチゴのパウンドケーキ
- 価格 パウンドケーキ各種110円(税込)
上東イチゴのパウンドケーキ150円(税込)
- 賞味期限 各種パウンドケーキ製造日より21日
上東イチゴのパウンドケーキのみ製造日より14日

【お問い合わせ先】

社会福祉法人 クムレ
就労継続支援B型事業所 クラシス

〒70110111
倉敷市上東827-17
FAX (086) 4631154
TEL (086) 6971540

車を運転するなら、万全の備えで!!

もしもの自動車事故による損害や傷害、トラブルを、自動車共済がしっかり補償します。



お問合わせは

西日本自動車共済協同組合 岡山県支部

〒700-0927 岡山市北区西古松237-126 松本ビル3F

TEL086-246-3355 FAX086-246-3375



西日本自動車共済協同組合

本部 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 2-15-25 TEL : 092-441-5901 NJ73010060030999999-1206(2)5300

地域資源を現場で活かす!
**ボランティア
 マネジメント講座**
 ～社会福祉施設編～

社会福祉施設でのボランティア募集から受け入れ、活動時の関わり、活動継続支援に至るまでのボランティアマネジメントや、地域資源の活かし方について、講義とワークショップを通して学べる講座を開催します。

「ボランティアを受け入れたいけど、具体的にどうすればいいのか分からない」「施設利用者一人ひとりの生活をもっと豊かなものにしたけれど、職員の方だけでは難しい」「ボランティアに楽しく長く活動が続けて欲しい」—そんな思いを抱いている施設職員の皆さん、講座に参加してみませんか?

ボランティア受け入れの具体的な手順を体系的に確認し、ワークショップを通してボランティアプログラムの作り方、地域資源の活かし方を実践的に学びましょう。地域とともにより良い施設を作っていくためのヒントがきつと得ら

れるはずですよ。
 皆様のご参加をお待ちしています。



昨年度のボランティアマネジメント講座の様態です。

◎日時 平成28年3月2日(水)

午前の部…10時～12時半

午後の部…14時～16時半

※午前と午後の講座内容は同じです

◎場所 ゆうあいセンター研修室

◎対象 ボランティア受け入れを担当している、または受け入れに関心がある県内の社会福祉施設職員

◎参加費 無料

◎お問い合わせ・お申込み先

岡山県ボランティア・

NPO活動支援センター

(通称：ゆうあいセンター)

TEL…086-1231-0532

FAX…086-1231-0541

Eメール：youi@okayama-share.jp



平成28年度 岡山県社協 広告募集

機関紙『岡山県社会福祉』

社会福祉関係者に本会の取組みや最新の福祉動向を紹介する機関紙です。

- 発行回数：年6回(偶数月10日発行)
- 発行部数：1回あたり5,700部
- 配布先：民生委員・児童委員(約3,000名) 社会福祉法人・施設(約1,900ヶ所)等
- 広告掲載料：A4サイズ1/4 13,000円 A4サイズ1/8 7,000円



ホームページバナーや福祉求人情報誌等の広告も随時募集中です。詳細は、ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】岡山県社会福祉協議会 総務企画部 TEL：086-226-2822



ソウェルクラブへようこそ!!

- 福利厚生センター(ソウェルクラブ)は、社会福祉法に基づき「社会福祉事業従事者の福利厚生の増進を図る」ことを目的に厚生労働大臣から指定された唯一の法人です。個々の法人では成し得ない福利厚生事業を全国規模で共有化することにより、規模のメリットを最大限に活かし、会員のニーズに応じた多種多様なサービスを提供しています。
- 岡山県社会福祉協議会では、同センターの岡山県事務局(業務委託団体)として、地域に密着した会員のニーズに対応しています。



サービス内容

給付事業、健康管理サービス、各種講習会・海外研修の実施、レジャー・宿泊施設の割引、各種保険・ローン、クラブ・サークル活動助成、会員交流事業(日帰り旅行や食事会等)

掛金

職員一人当たり毎年度1万円
 職員一人当たり毎年度5万円

※原則常勤職員対象
 ※非常勤職員対象

お問合せ 岡山県社会福祉協議会 福祉経営支援部(福利厚生事業) Tel：086-226-2827

「おかやま介護の日2015」を開催 初代、カイゴ男子・カイゴ女子が決定される

介護業界というとネガティブなイメージを持たれる方もいますが、一面からだけでなく様々な角度から、見て聞いて触って感じ、介護のイメージを変えて頂くことを目的として、11月21日（土）に、イオンモール岡山の未来ホールで「おかやま介護の日2015」を開催しました。

柔道家でバルセロナ五輪の金メダリストの古賀稔彦さんによるトークショーでは、柔道と介護の意外な共通点も交えた軽快なトークで、会場はおおいに盛り上がりました。



柔道家の古賀稔彦さん

今日だけ聞ける若手職員本音トークでは、県内初開催となりました『カイゴ男子・カイゴ女子発掘

プロジェクト』で本審査に進んだ14名に、実際に働いて感じている正直な胸の内について、自分の言葉で語って頂きました。



本音トークも飛び出しました

第1回カイゴ男子・カイゴ女子発掘プロジェクト開催

介護現場で「喜び」「やりがい」「熱心さ」を持って働いている職員、そしてプライベートでも輝いているカイゴ男子・カイゴ女子を発掘する初のプロジェクトが開催されました（主催：岡山県老人福祉施設協議会【事務局：県社協内】）。

事前審査・記者会見

会員老人福祉施設・事業所からご応募頂いた、カイゴ男子32名、カイゴ女子26名について、21世紀

委員会発掘プロジェクト担当班により厳正に審査し、本審査へ進む14名（カイゴ男子7名・カイゴ女子7名）が選出され、後日行われた記者会見において、自己PRと意気込みを発表して頂きました。



記者会見の様子(11月4日)

11月21日、初代グランプリ・準グランプリが決定!!

本審査は、介護の日催事内で実施され、当日参加者416名にも一票を投じて頂き、介護の仕事への「喜び」「やりがい」「熱心さ」が溢れ、プライベートでも輝いている初代カイゴ男子・カイゴ女子を選出し、決定されました。グランプリ・準グランプリのカイゴ男子・カイゴ女子には、2月

14日（日）岡山ロイヤルホテル（岡山市北区絵図町）にて開催される「福祉の就職総合フェア岡山冬」における介護の魅力と感動のアピールや、写真集の発行等が予定されています。

〈グランプリ〉

特別養護老人ホーム高瀬Ⅱ（真庭市） 古山 喬成さん

特別養護老人ホーム神庭荘（真庭市） ニワン・リア・プルナヤンティさん

〈準グランプリ〉

特別養護老人ホーム千寿荘（真庭市） 池田 憲治さん

特別養護老人ホームいずみの杜（総社市） 塚田 紗織さん

本会としては、今回の事業を通じて若い人だけでなく、様々な人が介護の仕事を正しく理解し、自分の仕事として選んで頂けるよう、あらゆる場面で、継続的に発信し続けていきたいと思います。



グランプリ・準グランプリの皆さん

現場からの発信

災害時における福祉施設の役割 ③

地域と連携した防災意識を高める取り組み
社会福祉法人 淳邦会

10月号より紹介しています災害福祉に関する取り組みについて、今月号は高齢分野より、社会福祉法人淳邦会が実施する地域の方との勉強会などの取り組みをご紹介します。



法人内の体制について

社会福祉法人淳邦会では、岡山県倉敷市の水島IC近くにて、高齢者施設を運営しています。

法人内委員会の一つとして、特別養護老人ホームやデイサービス等の各事業所の代表者によって、防災委員会を組織しています。防災委員会では、防災マニュアルの作成や地震想定での防災訓練の実施、地域の方との勉強会の開催等の活

動を行っています。

また、防災委員会とは別に、法定の消防訓練を行う防火管理委員会があります。災害時の火災発生に備え、協力して活動しています。

防災委員会の取り組み

① 地域の方との勉強会

地域の方と顔の見える関係をつくり、一緒に防災に取り組むこと



倉敷市消防防災センターにおける勉強会の様子

を目的として、平成23年2月に、地域防災勉強会を開催しました。倉敷市防災危機管理室の方に講師として来ていただき、災害に関する話を聞きました。その中に、津波に関する話がありました。その時、その時は遠いところのことのようで、あまり実感がありませんでした。しかし、勉強会の約1か月後に東日本大震災が発生したことで、職員の中で、地震や津波への意識が強くなったように感じました。その後、5回にわたって、町

内会やシニアクラブの方と一緒に倉敷市消防防災センターに行き、特殊な装置を使用した震度6体験や通信指令室の見学、阪神大震災の映像視聴等を通して、災害について勉強しました。

② 地震災害対応訓練

地震が発生した際にどのように対応するか、また、情報をどのように集めていくかを中心に、1年に1回のペースで地震災害を想定した訓練を行っています。職員が交代制のため、4回の訓練で、ほぼ全員が参加できた状況です。

3回目の訓練からは、防災委員会が作成したシナリオを元に、個々のフロアや事業所ごとに訓練の目的やシナリオ、役割分担を考え、訓練後に、目的が達成できたかを確認するようにしています。訓練を重ねる中で、職員の意識が高まり、各担当者から意見やアイデアが出てくるようになってきました。職員のアイデアを取り入れることで、より実感を持って訓練できるようになったと感じています。

今後の取り組みについて

実際の災害時には、各部署の責任者が不在の場合や、夜間で職員が少ない場合が想定されます。その際に、現場の職員の判断で災害に対応できるように、考える力を養う訓練を実施していきたいです。

そのために、現在は、避難所開設ゲームをアレンジして試しているところですが、職員の負担にならない形で継続的に訓練を実施することで、防災意識を高めていき



地震災害対応訓練の様子

たいと考えています。

また、私たちが主に活動している地域では、自主防災組織の結成に向けて、地域の方が動き出そうとしているところです。社会福祉法人として、そして地域の一人として、どのような協力体制ができるかを模索していきたいです。



お話を伺った事務局次長 田中 竜也氏(右)と在宅支援部長 平松 由紀氏(左)

【お問い合わせ先】
 社会福祉法人 淳邦会
 TEL(086)450-1188



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成27年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

補償金額 (保険金額)

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ			
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円 (限度額)	5億円 (限度額)	

年間保険料

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			300円	450円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)			430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

(※)天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(普通傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(普通傷害保険)

福祉サービス総合補償

(普通傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険)

● お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社
 TEL:03(3593)6824

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK14-16220 (2015 2 6))

このコーナーでは、本会の会員である施設・団体等で働く「ふくし」の仕事に携わる人たちの声を紹介していきます。



介護施設：三楽園
武田 宏美 さん

今後ずっとしていける仕事をしたいと感じ、福祉の仕事を変えて考えるようになりました。

② 今、主にどんな仕事をしていますか？

園を利用している方の生活全般の支援をしています。作業を一緒に行ったり、生活の見守りを行ったりすることが主な業務です。利用者は、経済的や身体的に様々な課題がある方々ですが、その方のありのままを受け入れることを基本としています。

④ 休みの日の過ごし方は？

小学生の子どもがいるため、普段仕事と一緒に過ごせない分、休みの日は子どもをしたいことを聞いて一緒に過ごすことを大切にしています。ソフト制の仕事なので、実家に助けてもらいながら子育てと仕事の両立をしています。

① 「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

父が寝たきりで、幼い頃から母を手伝って父の介護をしていました。家にヘルパーさんやデイサービスの人が日常的に来ていたこともあり、その方たちを尊敬の目で見ていました。

③ 仕事を通じて体験した紹介したいエピソードがあれば教えてください

自分は人見知りな性格で、利用者の方に声をかけることがなかなかできませんでしたが、向こうから声をかけてもらい、親しくなることができました。自分の親世代の方も多く、娘の様に接することによって、より信頼関係も深まったと感じています。

⑤ 今後、どんな「仕事人」になりたいですか？（今後の抱負、トライしてみたい仕事など）

利用者の方、ひとりひとりの性格や考え方などをもっと知るために、努力したいと考えています。また福祉に関する様々な

資格を取得したり、障害特性に応じた接し方を学ぶことによって、仕事に対する理解を深めていきたいと考えています。

介護施設とは

身体や精神に障害があったり、何らかの生活上の問題のため日常生活を営むことが困難な方が入所し、健康で安心して生活しつつ、自立をめざす支援をする施設です。生活保護法第38条第2項に規定された施設であり、利用者は生活保護の受給者であるという点が特徴のひとつです。

三楽園について

津山市にある積善病院を母体としており、精神疾患を持った方の支援に特化した施設であるという特徴があります。畑作業や、編み物・刺し子といった手芸などから本人の能力に応じた作業に参加することにより、生活の充実や自立に向けた訓練を行っています。

編集後記

みなさんは今年の目標を立てましたか？私は新たな目標を「体幹を鍛える」ことにしました。体幹を鍛えると女性は太りにくくなる、姿勢が美しくなるといった“キレイ”につながる嬉しい効果があるようです。